

組織の改正について

2010年4月27日
東日本旅客鉄道株式会社

JR東日本では「グループ経営ビジョン 2020 - 挑む - 」の実現に向けて、7月1日付で、輸送の安定性を含む鉄道サービスの品質向上のための体制強化、海外鉄道事業のさらなる推進のための体制整備、環境経営をさらに強力に推進するための体制の構築などを目的とした組織改正を行います。

1 サービス品質改革部の設置

2005年7月、駅と鉄道に関する顧客満足を主体的に推進する組織として鉄道事業本部にお客さまサービス部を設置しましたが、鉄道サービス全般の品質向上を統括し、中長期的視点によるサービスインフラ整備や輸送安定性向上のための施策等をさらに計画的かつ強力に推進する体制が必要となっています。これらを踏まえて、輸送の安定性を含む鉄道サービスの品質を統括するための体制強化を行うとともに、組織名称を「サービス品質改革部」に変更します。

これにあわせて、各支社総務部に「サービス品質改革室」を設置します。

2 国際業務部の設置

国際関係業務については、現在、主に国際協力や国際交流等は国際部、海外鉄道事業戦略の検討・推進は経営企画部海外鉄道事業推進室で担当していますが、官民が連携して我が国の鉄道システムの海外展開を積極的に推進する動きの中で、当社の国際関係業務も多様化しています。

このような状況を踏まえ、一元的な体制を整備し海外鉄道事業のさらなる推進を図るため、経営企画部海外鉄道事業推進室と国際部を統合し、総合企画本部内に「国際業務部」を設置します。これにあわせて、現在、技術企画部で所管している鉄道国際規格関係業務は、国際業務部に移管します。

3 経営企画部環境経営推進室の設置

地球環境問題に積極的かつ長期的に取り組む体制を強化するため、経営企画部に「環境経営推進室」を設置します。環境経営推進室では、各種の環境法制への対応、社員一人ひとりの環境意識向上を図るための社員教育、グループ全体の環境戦略の策定等について取り組んでいきます。

4 実施時期

2010年7月1日(木)

東日本旅客鉄道株式会社組織図(本社)

